

旧バージョンから新バージョンへの データ移行手順書

Dental Innovation サポートセンター

第 2 版 2018.11.01

目次

1. はじめに.....	1
2. 旧バージョンからのデータエクスポート.....	2
2-1. テキストデータのエクスポート	2
2-1-1. エクスポートするテキストデータの種類	2
2-1-2. テキストデータのエクスポート手順	4
2-2. 画像データのエクスポート.....	8
2-2-1. エクスポートする画像データの種類.....	8
2-2-2. 画像データのエクスポート手順.....	9
2-2-2-1. 【FileMakerPro のバージョン】が 1、2 の方	9
2-2-2-2. 【FileMakerPro のバージョン】が 3～6 の方	10
2-2-2-3. 【FileMakerPro のバージョン】が 7～11 の方	11
2-2-2-4. 【FileMakerPro のバージョン】が 12～17 の方	12
2-2-3. 画像データのファイル形式の変換	13
2-2-3-1. 【.USR】から【.fp5】へのファイル形式変換	14
2-2-3-2. 【.fp5】から【.fp7】へのファイル形式変換.....	16
2-2-3-3. 【.fp7】から【.fmp12】へのファイル形式変換.....	19
2-2-4. 【.fmp12】から画像の抽出.....	22
3. 新バージョンへのデータインポート	27
3-1. zip ファイルの作成.....	27
3-1-1. zip ファイルの作成手順	27
3-2. zip ファイルのインポート.....	29
3-2-1. zip ファイルのインポート手順	29
3-3. インポートデータに不備があった場合の再インポート手順	31

1. はじめに

Dental Innovation ver1.0（以降、旧バージョン）で登録中のデータを Dental Innovation ver3.0（以降、新バージョン）でもご利用いただく場合はデータ移行を行う必要があります。本手順書では旧バージョンから新バージョンへのデータ移行手順を説明します。

※ なお、Dental Innovation ver2.0 からのデータ移行は現在行えませんので予めご了承ください。

2. 旧バージョンからのデータエクスポート

新バージョンに必要なデータを旧バージョンからエクスポートします。エクスポートするデータは以下の 2 種類です。

- テキストデータ（患者情報、料金表、治療計画、見積書などに登録されているテキスト）
- 画像を含むデータ（診断書、見積書、報告書に登録されている画像）

テキストデータのエクスポート手順は「[2-1. テキストデータのエクスポート](#)」、画像を含むデータ（以降、画像データ）のエクスポート手順は「[2-2. 画像データのエクスポート](#)」を参照してください。

※ 画像データから画像を抽出するには専用の画像抽出プログラムも必要となります。下記の URL からダウンロードしてください。

<https://www.dental-innovation.jp/migration/>

2-1. テキストデータのエクスポート

新バージョンで必要となるテキストデータは全部で 11 種類です。テキストデータを CSV ファイル形式でエクスポートします。旧バージョンのエクスポート機能を用いて CSV ファイルの作成を行います。

2-1-1. エクスポートするテキストデータの種類

旧バージョンからエクスポートを行う 11 種類のテキストデータは以下の通りです。

表 1. エクスポートするテキストデータの一覧

番号	テキストデータ
1	M_患者情報.USR
2	M_単価.USR
3	M_治療計画.USR
4	M_治療計画状態明細
5	M_治療計画要治療
6	M_治療報告明細
7	M_治療計画補綴物
8	入金額表示用
9	見積.USR
10	見積明細表示用
11	処置明細

11 種類のテキストデータをエクスポートする必要があり、旧バージョンのエクスポート機能は画面単位で用意されています。どの画面でエクスポートできるかを表 2 に示します。表 2 に示す通り、同じ画面から複数のテキストデータをエクスポートする場合があります。この場合はテキストデータの数だけエクスポートする必要があります。

※ 例えば、『治療計画一覧』画面の場合、6 種類のテキストデータが対象になるので 6 回操作が必要です。

表 2. 各テキストデータとエクスポートを行う画面の対応表

番号	テキストデータ	エクスポートを行う画面
1	M_患者情報.USR	患者情報一覧画面
2	M_単価.USR	料金表登録画面
3	M_治療計画.USR	治療計画一覧画面
4	M_治療計画状態明細	
5	M_治療計画要治療	
6	M_治療報告明細	
7	M_治療計画補綴物	
8	入金額表示用	
9	見積.USR	御見積一覧画面
10	見積明細表示用	
11	処置明細	

画面の表示の方法は以下の通りです。

- 『患者情報一覧』画面： メニュー画面 → 「患者情報」ボタンをクリック
- 『料金表登録』画面： メニュー画面 → 「料金表」ボタンをクリック
- 『治療計画一覧』画面： メニュー画面 → 「治療計画」ボタンをクリック
- 『御見積一覧』画面：
 - メニュー画面 → 「治療計画」ボタンをクリック
 - 「御見積書」ボタンをクリック
 - 「御見積書表示」ボタンをクリック
 - 「御見積...」をクリック
 - 「御見積書一覧」を選択

2-1-2. テキストデータのエクスポート手順

テキストデータのエクスポートは以下の手順で行います。

※ ここでは例として、「M_治療計画.USR」のエクスポートの手順を示しています。

「M_治療計画.USR」は『治療計画一覧』画面からエクスポートします。同画面では複数のテキストデータをエクスポートするため、どのようにエクスポート対象のテキストデータを選択するのも併せて説明します。

※ その他の9種類のテキストデータも同様の手順でエクスポートしてください。

- ① 「M_治療計画.USR」のエクスポートを行うため『治療計画一覧』画面に移動します。（表2を参考にしてください。）
- ② 図1のように、画面のメニューバーから「ファイル」をクリックし、「レコードのエクスポート」を選択します。

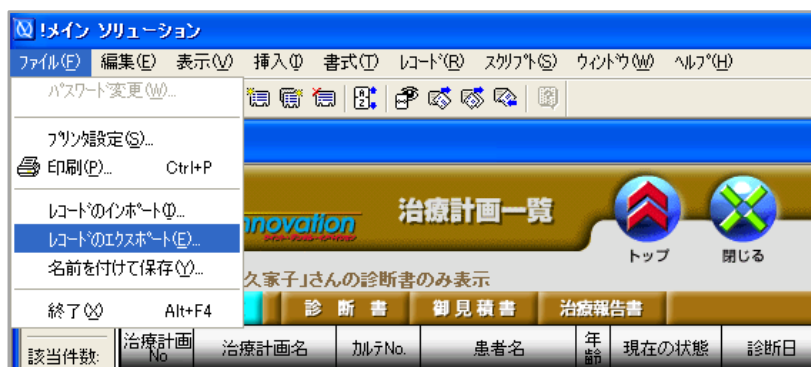


図 1. 「レコードのエクスポート」を選択する様子

- ③ 図2のように、『ファイルへのレコードエクスポート』画面が表示されたら以下の項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

- 保存する場所：デスクトップ
- ファイル名： M_治療計画
- ファイルの種類：コンマ区切りのテキストファイル (*.csv)

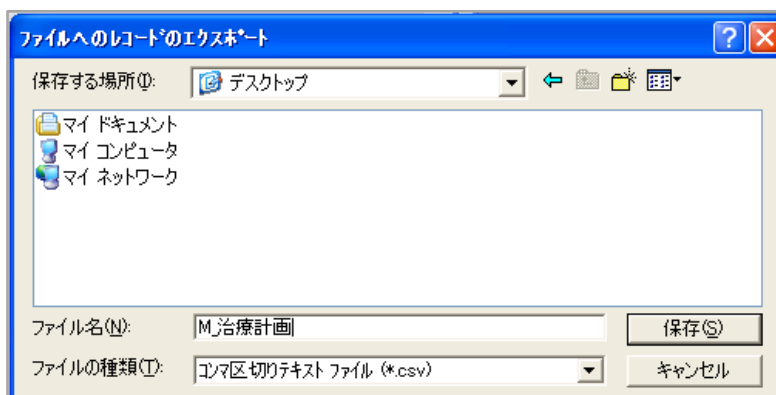


図 2. ファイルへのレコードのエクスポート画面

【ファイル名について】

保存する CSV ファイル名をテキストデータ毎に以下の通り入力してください。新バージョンでは CSV ファイル名を基にインポートを行います。

表 3. テキストデータをエクスポートする際の CSV ファイル名

番号	テキストデータ	CSV ファイル名
1	M_患者情報.USR	M_患者情報.csv
2	M_単価.USR	M_単価.csv
3	M_治療計画.USR	M_治療計画.csv
4	M_治療計画状態明細	M_治療計画状態明細.csv
5	M_治療計画要治療	M_治療計画要治療.csv
6	M_治療報告明細	M_治療報告明細.csv
7	M_治療計画補綴物	M_治療計画補綴物.csv
8	入金額表示用	入金額表示用.csv
9	見積.USR	見積.csv
10	見積明細表示用	見積明細表示用.csv
11	処置明細	処置明細.csv

④ 図 3 のように、『フィールドデータのエキスポート順』画面が表示されたら、以下の項目を選択します。

- データ選択欄（図 3 の黄色の枠の部分）： M_治療計画.USR
- 文字セット： シフト JIS

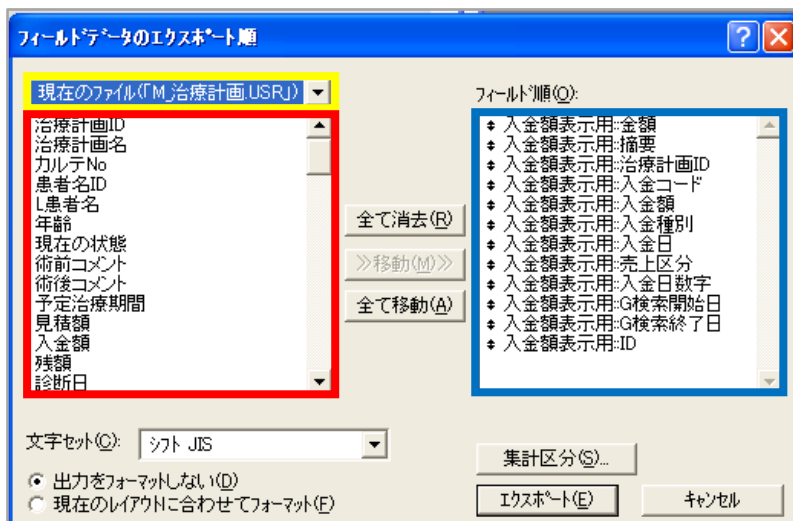


図 3. フィールドのエキスポート画面

【データ選択欄について】

データ選択欄の「▼」ボタンをクリックすると、エキスポート可能なテキストデータの一覧が表示されます。表 2 に示すように『治療計画一覧』画面や『御見積一覧』画面では複数のテキストデータをエキスポートします。その場合は、図 4 のように、データ選択欄の「▼」ボタンをクリックして、エキスポートするテキストデータを選択してください。

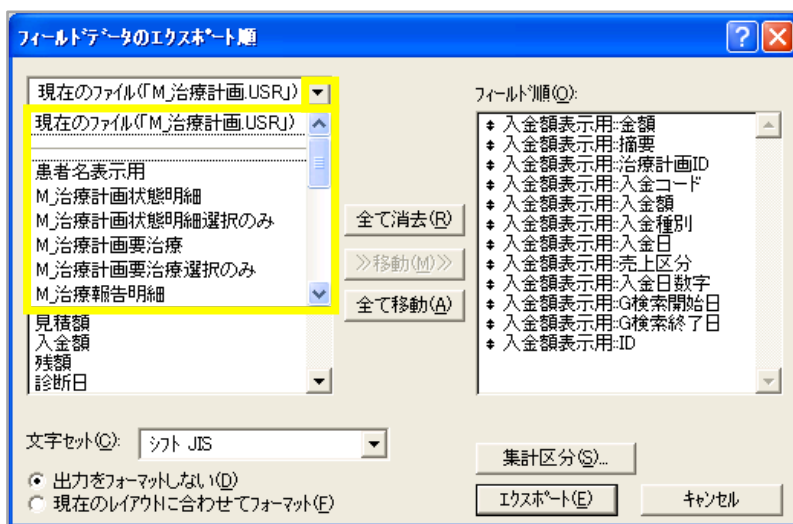


図 4. データ選択欄の「▼」ボタンをクリックしている様子

- ⑤ テキストデータが持つ全てのフィールドをエクスポート対象にします。

【全てのフィールドをエクスポート対象にする方法について】

新バージョンはテキストデータが持つ全てのフィールドをインポートすることを前提としています。全てのフィールドをエクスポートするには、図 3 の赤枠に表示されている全てのフィールドを青枠に移動させる必要があります。

以下の操作を行うことで全てのフィールドを移動させることができます。

1. 「全て消去」ボタンをクリックして青枠の中身を空にする
2. 「全て移動」ボタンをクリックして赤枠の内容を青枠に移動する

なお、赤枠と青枠に表示されているフィールドは以下の情報を示しています。

- 赤枠：テキストデータが持つ全てのフィールド（属性）リスト
- 青枠：テキストデータの中でエクスポートするフィールド（属性）リスト

- ⑥ テキストデータの全てのフィールドがエクスポート対象になっている（青枠に移動している）ことを確認し、「エクスポート」ボタンをクリックします。

※ デスクトップ上に「M_治療計画.csv」が作成されていればエクスポート成功です。

※ テキストデータの容量が大きい場合は作成されるまでにしばらく時間がかかります。

テキストデータのエクスポート手順は以上です。

その他の 10 種類のテキストデータを同様の手順で全てエクスポートしてください。

引き続き、画像データのエクスポートを行うので「[2-2. 画像データのエクスポート](#)」に進んでください。

2-2. 画像データのエクスポート

新バージョンで必要となる画像データは 1 種類のみです。その画像データを fmp12 ファイル形式でエクスポートします。その後、本手順書と一緒にダウンロードしていただいた画像抽出プログラムを用いて fmp12 ファイルから画像を抽出します。

2-2-1. エクスポートする画像データの種類

旧バージョンからエクスポートを行う画像データは「M_治療計画.fmp12」の 1 種類です。

ただし、お使いの旧バージョンの動作環境（FileMakerPro）のバージョンによっては【.fmp12】のファイル形式でエクスポートできない場合があります。その場合は、一旦お使いの FileMakerPro から画像データのエクスポートを行います。その後、【.fmp12】のファイル形式への変換を行います。

まずは画像データのエクスポートを行います。

お使いの FileMakerPro のバージョンを確認して、指定している手順に進んでください。

- FileMakerPro のバージョンが【1、2】： [「2-2-2-1. 【FileMakerPro のバージョン】が 1、2 の方」](#)
- FileMakerPro のバージョンが【3～6】： [「2-2-2-2. 【FileMakerPro のバージョン】が 3～6 の方」](#)
- FileMakerPro のバージョンが【7～11】： [「2-2-2-3. 【FileMakerPro のバージョン】が 7～11 の方」](#)
- FileMakerPro のバージョンが【12～17】： [「2-2-2-4. 【FileMakerPro のバージョン】が 12～17 の方」](#)

2-2-2. 画像データのエクスポート手順

画像データのエクスポートを行います。

2-2-2-1. 【FileMakerPro のバージョン】が 1、2 の方

画像データのエクスポートは以下の手順で行います。

- ① 「M_治療計画.USR」のエクスポートを行うため『治療計画一覧』画面に移動してください。
- ② 画面のメニューバーから「ファイル」をクリックし、「レコードのエクスポート」を選択します。
- ③ 図 5 のように、『ファイルへのレコードエクスポート』画面が表示されたら以下の項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。
 - 保存する場所： デスクトップ
 - ファイル名： M_治療計画
 - ファイルの種類： ファイルメーカーPro ラインタイムファイル(*.USR)

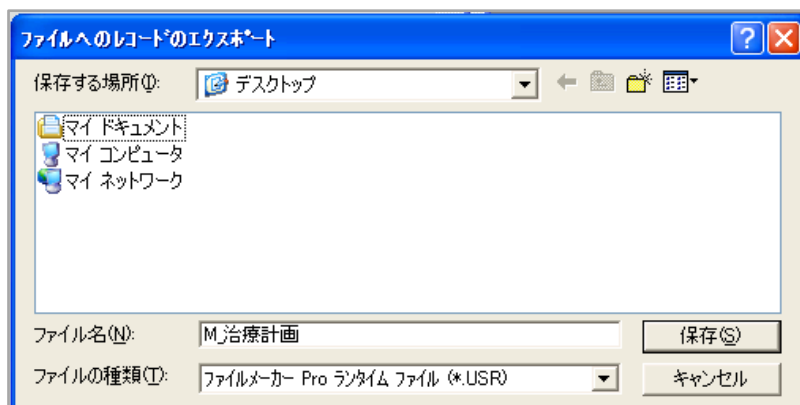


図 5. ファイルへのレコードのエクスポート画面 (FileMakerPro1)

- ④ 『フィールドデータのエクスポート順』画面が表示されたら、以下の項目を選択します。
 - データ選択欄： M_治療計画.USR
 - 文字セット： シフト JIS
- ⑤ 「M_治療計画.USR」が持つ全てのフィールドをエクスポート対象にします。
- ⑥ 「M_治療計画.USR」の全てのフィールドがエクスポート対象になっていることを確認し、「エクスポート」ボタンをクリックします。
 - ※ デスクトップ上に「M_治療計画.USR」が作成されていればエクスポート成功です。
 - ※ 画像データの容量が大きい場合は作成されるまでにしばらく時間がかかります。
- ⑦ 引き続き、ファイル変換を行うので「[2-2-3-1. 【.USR】から【.fp5】へのファイル形式変換](#)」へ進んでください。

2-2-2-2. 【FileMakerPro のバージョン】が 3～6 の方

画像データのエクスポートは以下の手順で行います。

- ① 「M_治療計画.fp5」のエクスポートを行うため『治療計画一覧』画面に移動してください。
- ② 画面のメニューバーから「ファイル」をクリックし、「レコードのエクスポート」を選択します。
- ③ 図 6 のように、『ファイルへのレコードエクスポート』画面が表示されたら以下の項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。
 - 保存する場所： デスクトップ
 - ファイル名： M_治療計画
 - ファイルの種類： ファイルメーカーPro ファイル(*.fp5)

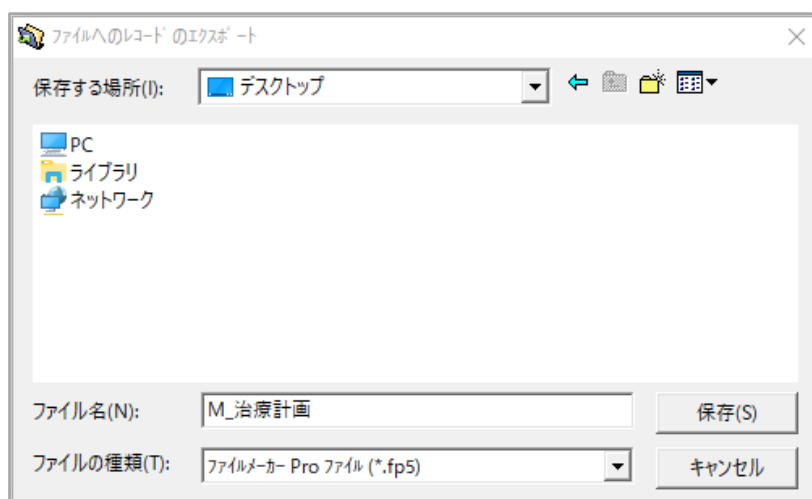


図 6. ファイルへのレコードのエクスポート画面 (FileMakerPro6)

- ④ 『フィールドデータのエクスポート順』画面が表示されたら、以下の項目を選択します。
 - データ選択欄： M_治療計画.fp5
 - 文字セット： シフト JIS
- ⑤ 「M_治療計画.fp5」が持つ全てのフィールドをエクスポート対象にします。
- ⑥ 「M_治療計画.fp5」の全てのフィールドがエクスポート対象になっていることを確認し、「エクスポート」ボタンをクリックします。
 - ※ デスクトップ上に「M_治療計画.fp5」が作成されていればエクスポート成功です。
 - ※ 画像データの容量が大きい場合は作成されるまでにしばらく時間がかかります。
- ⑦ 引き続き、ファイル変換を行うので「[2-2-3-2. 【.fp5】から【.fp7】へのファイル形式変換](#)」へ進んでください。

2-2-2-3. 【FileMakerPro のバージョン】が 7～11 の方

画像データのエクスポートは以下の手順で行います。

- ① 「M_治療計画.fp7」のエクスポートを行うため『治療計画一覧』画面に移動してください。
- ② 画面のメニューバーから「ファイル」をクリックし、「レコードのエクスポート」を選択します。
- ③ 図 7 のように、『ファイルへのレコードエクスポート』画面が表示されたら以下の項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。
 - 保存する場所： デスクトップ
 - ファイル名： M_治療計画
 - ファイルの種類： FileMakerPro ファイル(*.fp7)

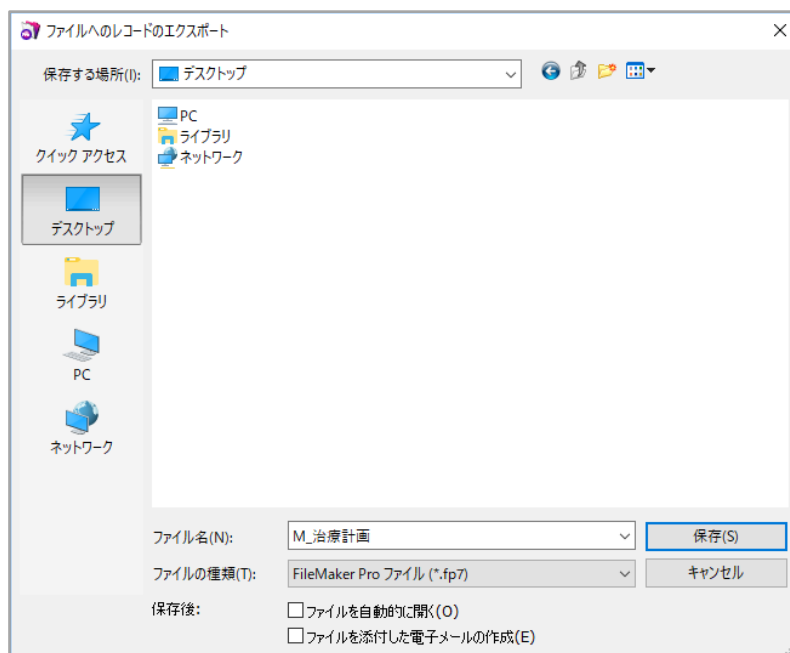


図 7. ファイルへのレコードのエクスポート画面（FileMakerPro11）

- ④ 『フィールドデータのエクスポート順』画面が表示されたら、以下の項目を選択します。
 - データ選択欄： M_治療計画.fp7
 - 文字セット： シフト JIS
- ⑤ 「M_治療計画.fp7」が持つ全てのフィールドをエクスポート対象にします。
- ⑥ 「M_治療計画.fp7」の全てのフィールドがエクスポート対象になっていることを確認し、「エクスポート」ボタンをクリックします。
 - ※ デスクトップ上に「M_治療計画.fp7」が作成されていればエクスポート成功です。
 - ※ 画像データの容量が大きい場合は作成されるまでにしばらく時間がかかります。
- ⑦ 引き続き、ファイル変換を行うので「[2-2-3-3. 【.fp7】から【.fmp12】へのファイル形式変換](#)」へ進んでください。

2-2-2-4. 【FileMakerPro のバージョン】が 12～17 の方

画像データのエクスポートは以下の手順で行います。

- ① 「M_治療計画.fmp12」のエクスポートを行うため『治療計画一覧』画面に移動してください。
- ② 画面のメニューバーから「ファイル」をクリックし、「レコードのエクスポート」を選択します。
- ③ 図 8 のように、『ファイルへのレコードエクスポート』画面が表示されたら以下の項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。
 - 保存する場所： デスクトップ
 - ファイル名： M_治療計画
 - ファイルの種類： FileMaker Pro Advanced ファイル(*.fmp12)

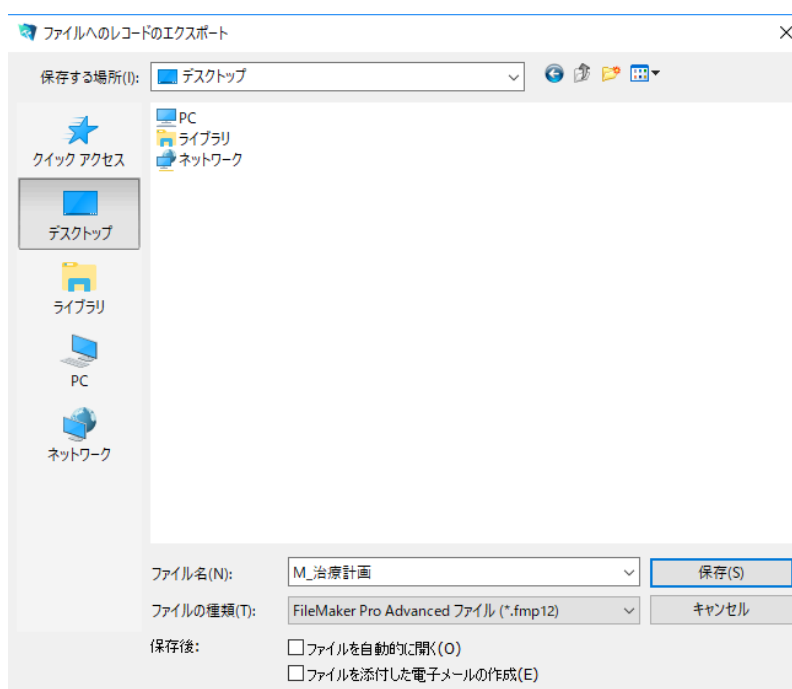


図 8. ファイルへのレコードのエクスポート画面（FileMakerPro17）

- ④ 『フィールドデータのエクスポート順』画面が表示されたら、以下の項目を選択します。
 - データ選択欄： M_治療計画.fmp12
 - 文字セット： シフト JIS
- ⑤ 「M_治療計画.fmp12」が持つ全てのフィールドをエクスポート対象にします。
- ⑥ 「M_治療計画.fmp12」の全てのフィールドがエクスポート対象になっていることを確認し、「エクスポート」ボタンをクリックします。
 - ※ デスクトップ上に「M_治療計画.fmp12」が作成されていればエクスポート成功です。
 - ※ 画像データの容量が大きい場合は作成されるまでにしばらく時間がかかります。
- ⑦ 引き続き、画像の抽出を行うので「[2-2-3-4. 【.fmp12】から画像の抽出](#)」へ進んでください。

2-2-3. 画像データのファイル形式の変換

画像データから画像を抽出するには、画像データのファイル形式が【.fmp12】である必要があります。

[「2-2-2. 画像データのエクスポート手順」](#)を基にエクスポートした画像データのファイル形式が【.fmp12】でない場合は先にファイル形式の変換を行います。

デスクトップ上に作成した「M_治療計画」のファイル形式を確認して、指定している手順に進んでください。

- ファイルが【M_治療計画.USR】： [「2-2-3-1. 【.USR】から【.fp5】へのファイル形式変換」](#)
- ファイルが【M_治療計画.fp5】： [「2-2-3-2. 【.fp5】から【.fp7】へのファイル形式変換」](#)
- ファイルが【M_治療計画.fp7】： [「2-2-3-3. 【.fp7】から【.fmp12】へのファイル形式変換」](#)
- ファイルが【M_治療計画.fmp12】： [「2-2-3-4. 【.fmp12】から画像の抽出」](#)

2-2-3-1. 【.USR】から【.fp5】へのファイル形式変換

FileMakerPro6 の評価版を使用し、「M_治療計画.USR」を「M_治療計画.fp5」に変換します。

ファイル変換は以下の手順で行います。

- ① 下記の URL をクリックし、FileMakerPro6 の評価版をダウンロードします。

<https://support.filemaker.com/s/answer/view?language=ja&anum=10754>

※ 図 9 の青枠内からお使いの OS のダウンロードボタンをクリックしてください。

現在ご利用の FileMaker のバージョンから複数回の変換が必要な状況で、旧バージョンの FileMaker Pro ソフトウェアをお持ちでない場合は、以下から評価版をダウンロードしてご利用ください。

オペレーティングシステム	FileMaker Pro 11 評価版をダウンロードしてください。	ファイルメーカー-Pro 6 評価版をダウンロードしてください。
Mac OS X	Mac 版の FileMaker Pro 11 評価版をダウンロードしてください。 <input type="button" value="Mac"/>	Mac OS X 版のファイルメーカー-Pro 6 評価版をダウンロードしてください。 <input type="button" value="Mac"/>
Windows	Windows 版の FileMaker Pro 11 評価版をダウンロードしてください。 <input type="button" value="Win"/>	Windows 版のファイルメーカー-Pro 6 評価版をダウンロードしてください。 <input type="button" value="Win"/>
Mac OS 9.x または 8.x	FileMaker Pro 11 は、これらの OS とは互換性がありません。	Mac OS 9 または 8 版のファイルメーカー-Pro 6 評価版をダウンロードしてください。 <input type="button" value="Mac"/>

図 9. FileMakerPro6 の評価版のダウンロードページ

※ Windows の場合は zip ファイル、Macintosh の場合は sit ファイルがダウンロードされます。

- ② 圧縮ファイルを解凍し、実行ファイルをダブルクリックします。

※ Windows の方は「setup.exe」、Macintosh の方は「Mac OS X インストーラー」をダブルクリックしてください。

- ③ FileMakerPro6 評価版のインストーラーが起動するので、インストールを行います。

- ④ インストール後、FileMakerPro6 の評価版を起動します。

※ 試用版として起動するか確認されるので、試用版として起動してください。

- ⑤ 起動後、「ファイル」をクリックし、「開く」を選択します。

⑥ 図 10 のように、『ファイルを開く』画面が表示されたら以下の項目を入力し、「開く」ボタンをクリックします。

- 保存する場所：デスクトップ
- ファイル名： M_治療計画.USR
- ファイルの種類：すべてのファイル (*.*)

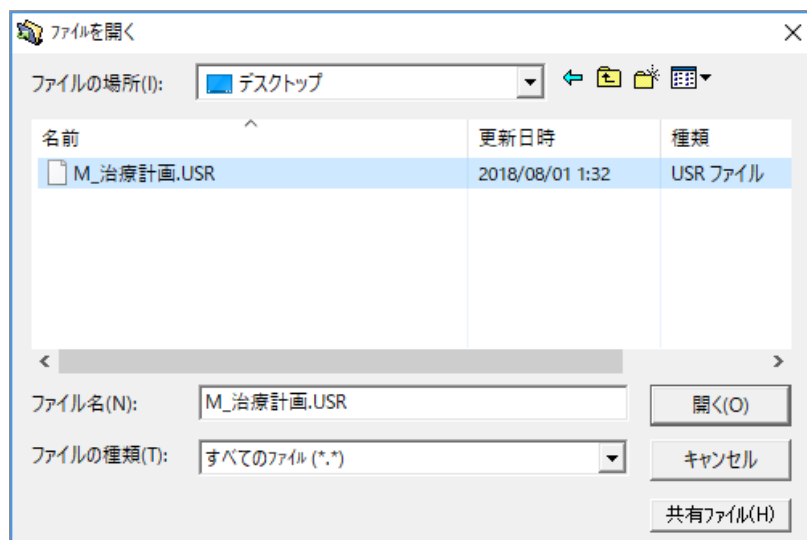


図 10. ファイルを開く画面（FileMakerPro6）

⑦ 「元のファイル名変更」チェックボックスの選択を解除して、「OK」をクリックし、元のファイルの名前の変更を省略します。

【「元のファイル名変更」チェックボックスが表示されない場合】

そのまま「M_治療計画.USR」が表示された場合は、「ファイル」をクリックし、「レコードのエクスポート」を選択してください。『ファイルへのレコードのエクスポート』画面が表示されたら以下の項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。その後、⑨へ進んでください。

- 保存する場所：デスクトップ
- ファイル名： M_治療計画
- ファイルの種類：ファイルメーカー-Pro ファイル(*.fp5)

※ デスクトップ上に「M_治療計画.fp5」が作成されていればファイル変換成功です。

⑧ 『変換されたファイルの名前』画面が表示されたら以下の項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

- 保存する場所：デスクトップ
- ファイル名： M_治療計画
- ファイルの種類：ファイルメーカー-Pro ファイル(*.fp5)

※ デスクトップ上に「M_治療計画.fp5」が作成されていればファイル変換成功です。

⑨ 引き続き、ファイル変換を行うので「[2-2-3-2. 【.fp5】から【.fp7】へのファイル形式変換](#)」へ進んでください。

2-2-3-2. 【.fp5】から【.fp7】へのファイル形式変換

FileMakerPro11 の評価版を使用し、「M_治療計画.fp5」を「M_治療計画.fp7」に変換します。

ファイル変換は以下の手順で行います。

- ① 下記の URL をクリックし、FileMakerPro11 の評価版をダウンロード後、インストールしてください。

<https://support.filemaker.com/s/answer/view?language=ja&anum=10754>

※ 図 11 の青枠内からお使いの OS のダウンロードボタンをクリックしてください。



図 11. FileMakerPro11 の評価版ダウンロードページ

※ Windows の場合は exe ファイル、Macintosh の場合は dmg ファイルがダウンロードされます。

- ② ダウンロードした実行ファイルをダブルクリックします。
- ③ FileMakerPro11 評価版のインストーラーが起動するので、インストールを行います。
- ④ インストール後、FileMakerPro11 の評価版を起動します。
※ 試用版として起動するか確認されるので、試用版として起動してください。
- ⑤ 起動後、「ファイル」をクリックし、「開く」を選択します。

⑥ 図 12 のように、『ファイルを開く』画面が表示されたら以下の項目を入力し、「開く」ボタンをクリックします。

- 保存する場所：デスクトップ
- ファイル名： M_治療計画.fp5
- ファイルの種類：FileMaker ファイル (*.fp7;*.fp5;*.fp3;*.fmj;*.fpsi)

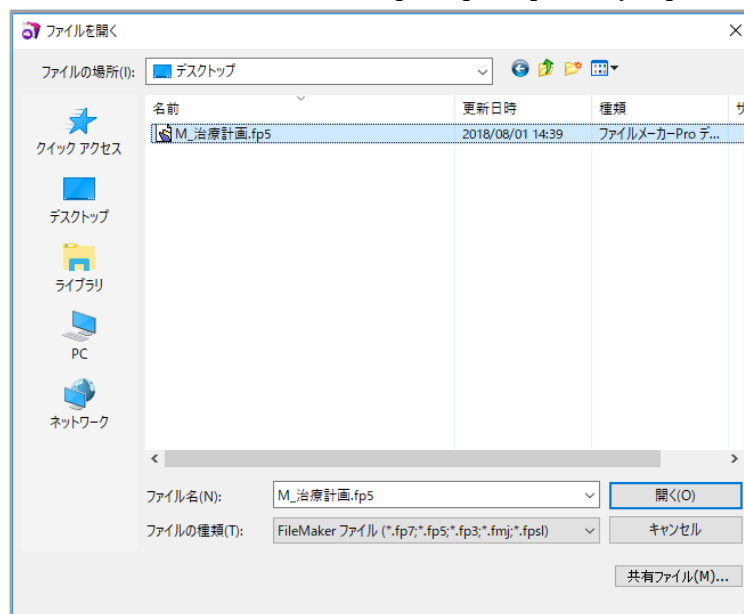


図 12. ファイルを開く画面 (FileMakerPro11)

⑦ 「元のファイル名変更」チェックボックスの選択を解除して、「OK」をクリックし、元のファイルの名前の変更を省略します。

⑧ 図 13 のように、『変換後のファイル名』画面が表示されたら以下の項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

- 保存する場所：デスクトップ
- ファイル名： M_治療計画.fp7
- ファイル種類： FileMaker ファイル (*.fp7)

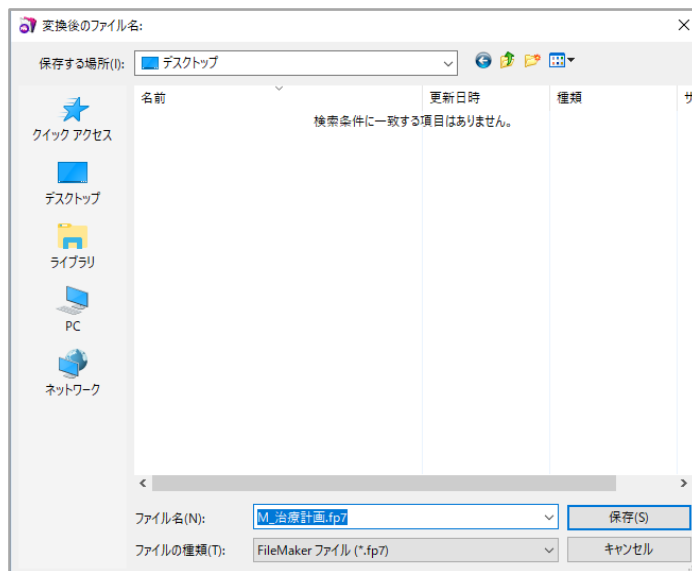


図 13. 変換後のファイル名画面 (FileMakerPro11)

※ デスクトップ上に「M_治療計画.fp7」が作成されていればファイル変換成功です。

⑨ 引き続き、ファイル変換を行うので「[2-2-3-3. 【.fp7】から【.fmp12】へのファイル形式変換](#)」へ進んでください。

2-2-3-3. 【.fp7】から【.fmp12】へのファイル形式変換

FileMakerPro17 の評価版を使用し、「M_治療計画.fp7」を「M_治療計画.fmp12」に変換します。
ファイル変換は以下の手順で行います。

- ① 下記の URL をクリックし、FileMakerPro17 の評価版をダウンロードします。

<https://content.filemaker.com/filemaker-trial-ja>

※ 評価版ダウンロードページにて必要事項を入力すると、ダウンロード可能となります。

※ 図 14 のダウンロードページにて、お使いの OS のダウンロードリンクをクリックしてください。



図 14. FileMakerPro17 のダウンロードページ

- ② ダウンロードした実行ファイルをダブルクリックします。
- ③ FileMakerPro17 評価版のインストーラーが起動するので、インストールを行います。
- ④ インストール後、FileMakerPro17 の評価版を起動します。
※ 試用版として起動するか確認されるので、試用版として起動してください。
- ⑤ 起動後、「ファイル」をクリックし、「開く」を選択します。

⑥ 図 15 のように、『ファイルを開く』画面が表示されたら以下の項目を入力し、「開く」ボタンをクリックします。

- 保存する場所：デスクトップ
- ファイル名： M_治療計画.fp7
- ファイルの種類：FileMaker ファイル(*.fmp12;*.fp7;*.fmps1)

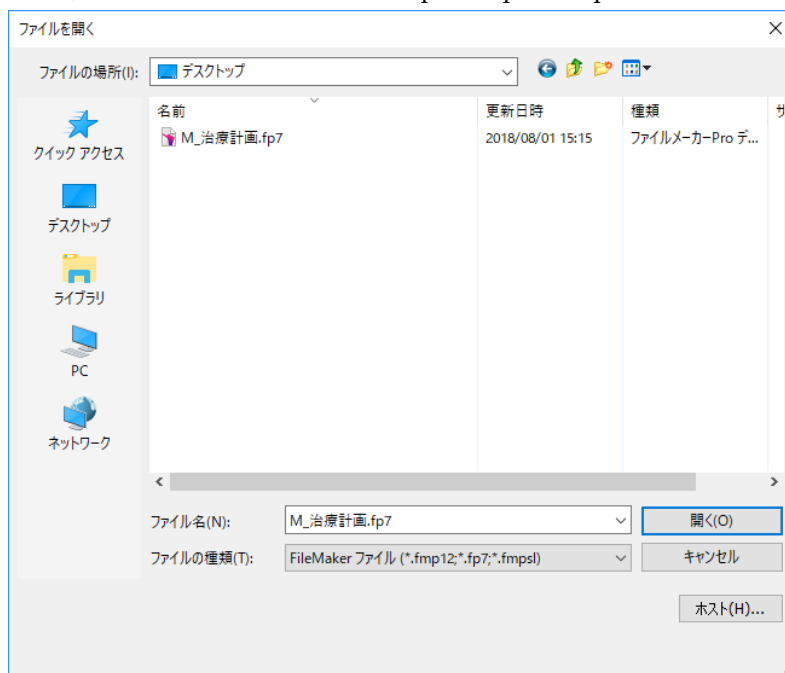


図 15. ファイルを開く画面 (FileMakerPro17)

⑦ 「元のファイル名変更」チェックボックスの選択を解除して、「OK」をクリックし、元のファイルの名前の変更を省略します。

⑧ 図 16 のように、『変換後のファイル名』画面が表示されたら以下の項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。「M_治療計画.fmp12」というファイルが作成されます。

- 保存する場所：デスクトップ
- ファイル名：M_治療計画.fmp12
- ファイル種類：FileMaker ファイル(*.fmp12)

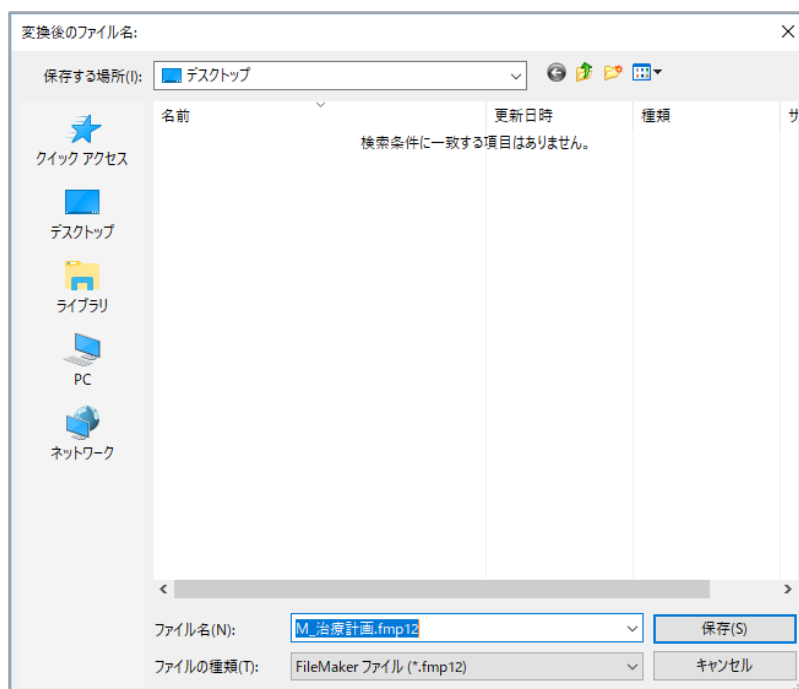


図 16. 変換後のファイル名画面 (FileMakerPro17)

※ デスクトップ上に「M_治療計画.fmp12」が作成されていればファイル変換成功です。

⑨ 引き続き、画像データから画像を抽出するので「[2-2-3-4. 【.fmp12】から画像の抽出](#)」へ進んでください。

2-2-4. 【.fmp12】から画像の抽出

本手順書と一緒にダウンロードしていただいた画像抽出プログラムを使用し、「M_治療計画.fmp12」から画像を【.jpg】形式で抽出します。

画像の抽出手順は以下の通りです。

- ① 下記の URL をクリックし、画像抽出プログラムをダウンロードします。
<https://www.dental-innovation.jp/migration/>
※ 既にダウンロードしている場合は②へ進んでください。
※ Windows の方は「【windows 版】画像抽出プログラム.zip」、
Macintosh の方は「【macintosh 版】画像抽出プログラム.zip」をダウンロードします。
- ② ダウンロードした画像抽出プログラムを右クリックし、解凍を選択します。解凍先はデスクトップにしてください。
※ Windows の方は、デスクトップ上に「【windows 版】画像抽出プログラム」フォルダが作成されていれば解凍成功です。
Macintosh の方は、デスクトップ上に「【macintosh 版】画像抽出プログラム」フォルダが作成されていれば解凍成功です。
- ③ 図 17 のように、解凍されたフォルダ内に「M_治療計画.fmp12」を移動させます。

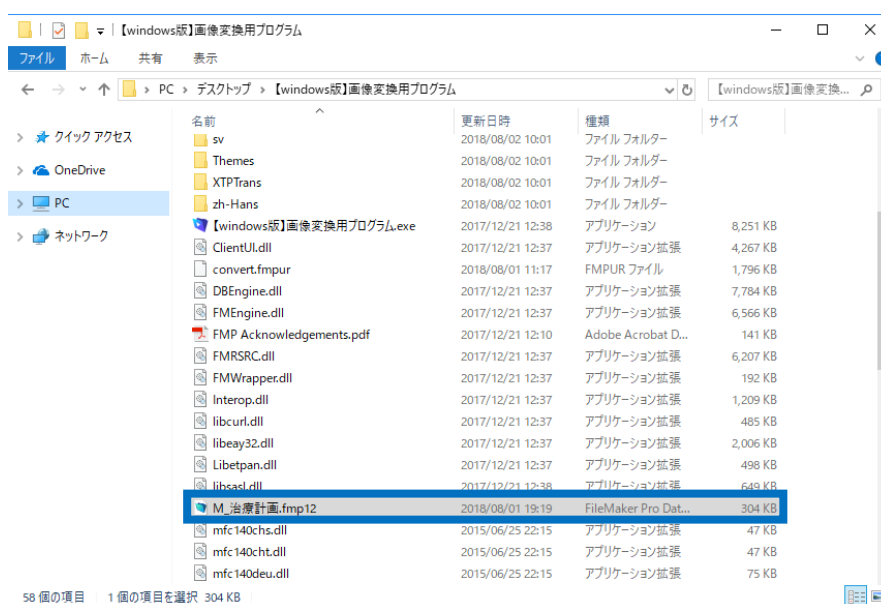


図 17. 解凍されたフォルダ内に「M_治療計画.fmp12」を移動させた様子（Windows の場合）

- ④ 解凍されたフォルダ内に保存してある実行ファイルをダブルクリックします。
※ Windows の方は「【windows 版】画像抽出プログラム.exe」を、
Macintosh の方は「【macintosh 版】画像抽出プログラム.app」をダブルクリックします。

- ⑤ 図 18 のように、『画像データ抽出』画面が表示されたら、「イメージのエキスポート」ボタンをクリックします。

※ 画像データの容量が大きい場合は抽出が完了するまでしばらく時間がかかります。


治療計画ID	201800706	患者ID	2188700
<input type="checkbox"/> 口腔内写真正面前後		 イメージのエキスポート	
<input type="checkbox"/> 口腔内写真正面			
<input type="checkbox"/> 口腔内写真左側前後			
<input type="checkbox"/> 口腔内写真左側			
<input type="checkbox"/> 口腔内写真右側			
<input type="checkbox"/> 口腔内写真右側前後			
<input type="checkbox"/> 口腔内写真下顎前後			
<input type="checkbox"/> 口腔内写真下顎			

図 18. 画像データ抽出画面（抽出前）

画像の抽出が完了すると、図 19 のように抽出された画像を確認することができます。

※ 画像が登録されていない治療計画の場合、画像エリアは空欄のままです。

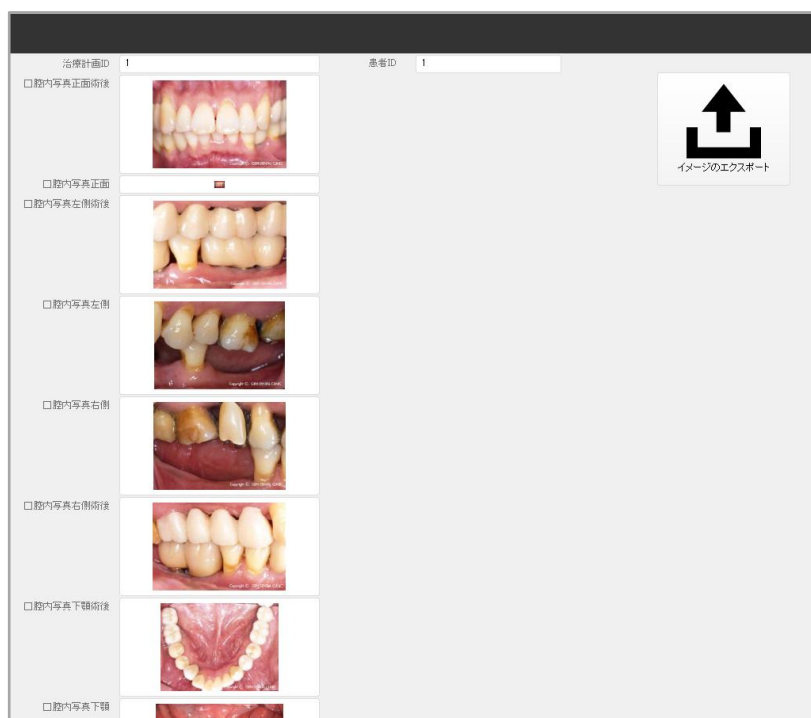


図 19. 画像データ抽出画面（抽出後）

⑥ 画像の抽出が完了すると、デスクトップ上に「treatment_plans」フォルダが作成されます。

図 20 のように、「treatment_plans」フォルダ内に「pictures」フォルダが作成されていることを確認してください。

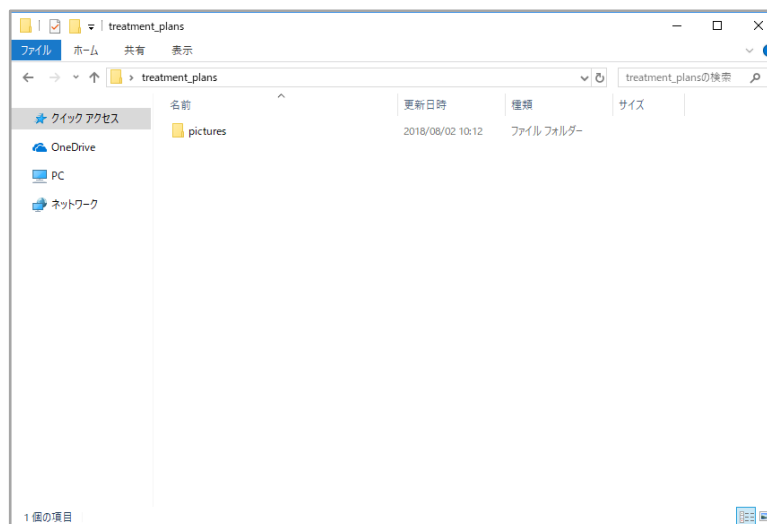


図 20. 作成された「treatment_plans」フォルダ内

【「pictures」フォルダの構成について】

「pictures」フォルダの構成は以下の通りです。

治療計画に登録されている「診断日（日）」毎にフォルダが作成され、そのフォルダ内に同一診断日の患者フォルダ、患者フォルダ内に治療計画フォルダが作成され、治療計画フォルダ内に画像が保存されます。画像は治療計画に登録されている画像のみが抽出されます。

※ 以下のフォルダ構成は治療計画に全ての画像が登録されている場合です。

```
pictures
|_ 診断日（年）
    |_ 診断日（月）
        |_ 診断日（日）
            |_patient_id_患者 ID
                |_ treatment_plan_id_治療計画 ID
                    |_ after_oral_front_image.jpg
                    |_ after_oral_left_image.jpg
                    |_ after_oral_lower_image.jpg
                    |_ after_oral_right_image.jpg
                    |_ after_oral_upper_image.jpg
                    |_ after_other_image1.jpg
                    |_ after_other_image2.jpg
                    |_ after_panorama_image.jpg
                    |_ after_x_ray_image1.jpg
                    |_ after_x_ray_image2.jpg
                    |_ oral_front_image.jpg
                    |_ oral_left_image.jpg
                    |_ oral_lower_image.jpg
                    |_ oral_right_image.jpg
                    |_ oral_upper_image.jpg
                    |_ other_image1.jpg
                    |_ other_image2.jpg
                    |_ panorama_image.jpg
                    |_ posttreatment_lower_image.jpg
                    |_ posttreatment_upper_image.jpg
                    |_ pretreatment_lower_image.jpg
                    |_ pretreatment_upper_image.jpg
                    |_ x_ray_image1.jpg
                    |_ x_ray_image2.jpg
```

OS のエクスプローラ上で確認すると、図 21 のように抽出された画像を確認できます。

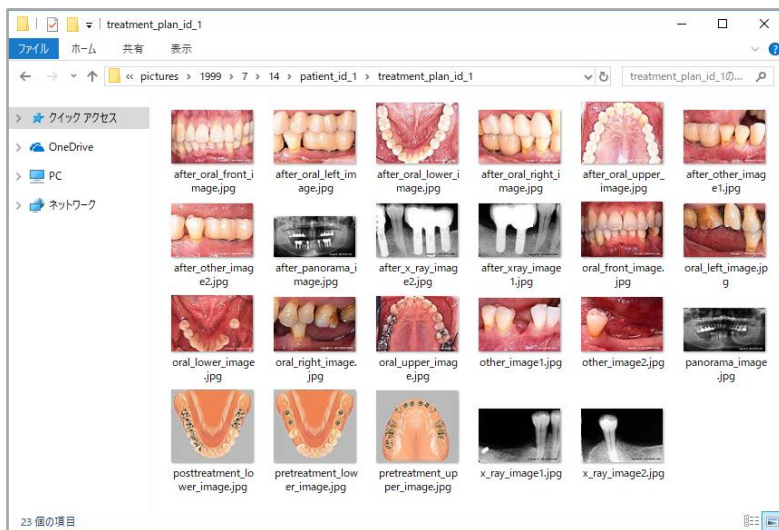


図 21. 抽出結果（診断日：1999/7/14、患者 ID：1、治療計画 ID：1 の例）

画像データのエクスポート手順は以上です。

3. 新バージョンへのデータインポート

「[2. 旧バージョンからのデータエクスポート](#)」の手順を基にエクスポートした旧バージョンのデータを新バージョンへインポートします。インポートするデータを 1 つにまとめた zip ファイルの作成を行います。

3-1. zip ファイルの作成

旧バージョンからエクスポートしたテキストデータと画像データを 1 つのフォルダにまとめます。お使いのコンピュータの機能を用いて作成したフォルダから zip ファイルを作成します。

3-1-1. zip ファイルの作成手順

zip ファイルの作成は以下の手順で行います。

- ① デスクトップ上に「treatment_plans」フォルダが作成されていることを確認します。
- ② 図 22 のように、「treatment_plans」フォルダ内にエクスポートしたテキストデータと画像データを移動させます。
 - ※ 「pictures」フォルダは画像の抽出を行った際に自動作成されます。
 - ※ 11 種類のテキストデータをデスクトップから「treatment_plans」フォルダに移動させてください。

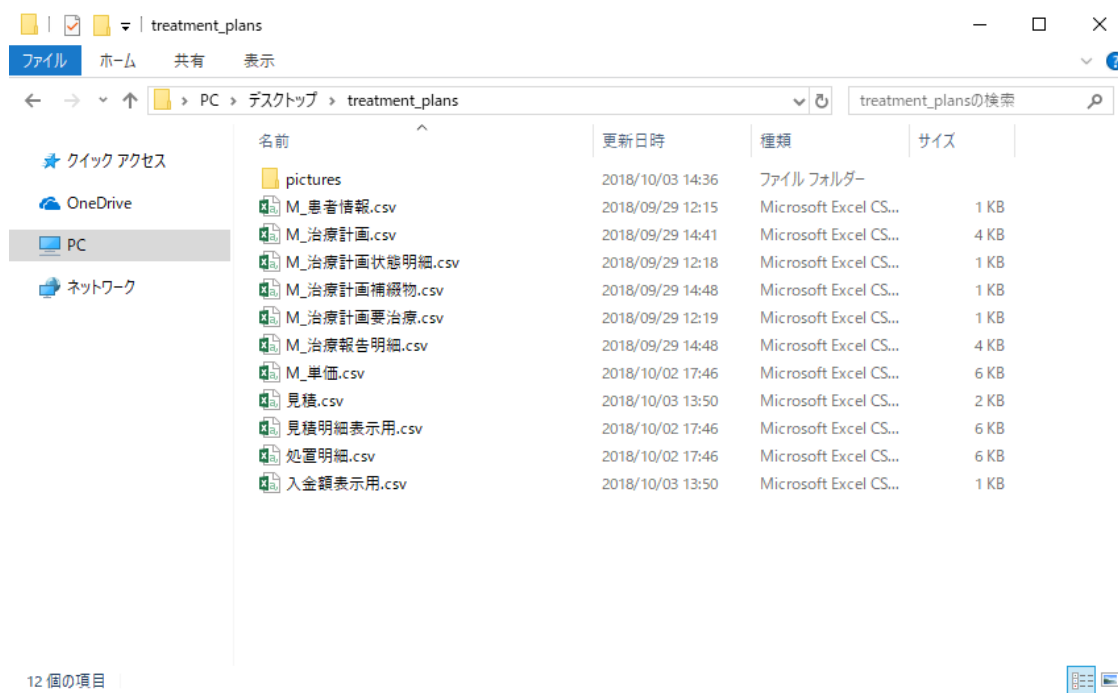


図 22. 「treatment_plans」フォルダ内のテキストデータと画像データ

- ③ 「treatment_plans」フォルダから zip ファイルを作成します。

お使いのコンピュータの OS にしたがって zip ファイルを作成してください。

 - Windows : 「treatment_plans」フォルダを右クリック > 「送る」 > 「圧縮」

- Macintosh : 「treatment_plans」フォルダを右クリック>「treatment_plans を圧縮」
- ※ デスクトップ上に「treatment_plans.zip」が作成されていれば zip ファイルの作成成功です。

zip ファイルの作成手順は以上です。

3-2. zip ファイルのインポート

「[3-1. zip ファイルの作成](#)」の手順を基に作成した zip ファイルを新バージョンへインポートします。新バージョンのデータ取込機能を用いて zip ファイルのインポートを行います。

3-2-1. zip ファイルのインポート手順

zip ファイルのインポートは以下の手順で行います。

- ① Dental Innovation ver3.0 に管理者アカウントでログインします。
- ② 図 23 のように、『メインメニュー』画面が表示されたら、「データ取込」ボタンをクリックします。

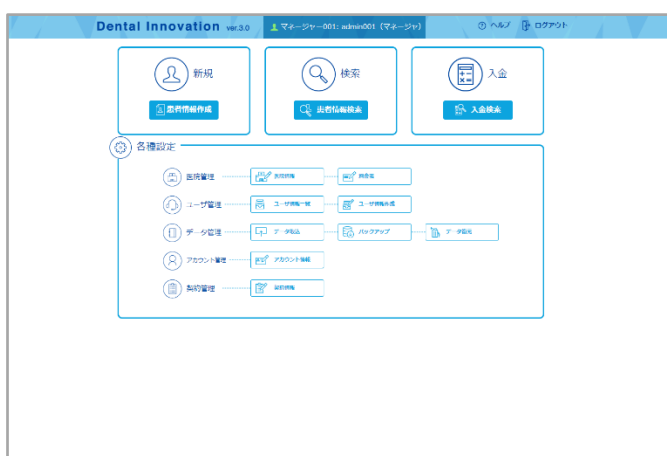


図 23. メインメニュー画面

- ③ 図 24 のように、『データ取込』画面が表示されたら以下の項目を選択し、「取込」ボタンをクリックします。

- ZIP ファイル：treatment_plans.zip



図 24. データ取込画面

図 25 は『取込中』画面です。10 種類のテキストデータを順番に取り込みます。

※ 各テキストデータの取込状況が随時更新されます。

※ 全てのテキストデータの取込状況が「取り込み完了」と表示されたら取込完了です。



図 25. 取込中画面

- ④ インポートが完了するとインポート成功/失敗に関わらず「errors_file.txt」がダウンロードされるので、ファイル内容を確認します。

※ 「errors_file.txt」の内容が空であればインポート成功です。

【errors_file.txt について】

インポートに失敗した場合、失敗内容として以下の情報が表示されています。

- テキストデータ名（CSV ファイル名）
- 取り込みに失敗した CSV ファイル内の行数
- データを特定するための情報
- 取り込み失敗の理由

例)

M_治療計画のインポート

行数:1 行目 治療計画 no:201800711 内容:治療計画 No はすでに存在します

インポートに失敗した場合、同じテキストデータ内の全てのデータが取り込みに失敗するわけではなく、正しいデータは正常に取り込まれます。不備のあるデータは取り込まれません。

インポートに失敗したデータを取り込む場合、「errors_file.txt」に表示されている失敗理由を参考にテキストデータを修正し、再度インポートを行います。

再インポートの手順は「[3-3. インポートデータに不備があった場合の再インポート手順](#)」を参照してください。

3-3. インポートデータに不備があった場合の再インポート手順

インポートデータに不備があり、取り込みに失敗したデータを再び取り込む場合は、データ修正後、再インポートを行います。ただし、以下のようにデータ不備がなくとも再インポートが必要になる場合があります。

例) 患者 A、治療計画を 3 つ保有 (1,2,3)

表 4. 再インポートが必要になるケース (○：データ不備なし、×：データ不備あり)

ケース	患者 A	治療計画 1	治療計画 2	治療計画 3	再インポート対象
1	×	○	○	○	全て 治療計画は患者に紐づくので、患者の取り込みに失敗した場合、治療計画自体も取り込まれないため
2	×	○	○	×	全て
3	○	×	○	○	治療計画 1

● ケース 1：患者 A にデータ不備があり、治療計画 1、2、3 はデータ不備がない場合(全て取り込み失敗)

● ケース 2：患者 A、治療計画 3 にデータ不備があり、治療計画 1、2 はデータ不備がない場合
(全て取り込み失敗)

● ケース 3：治療計画 1 のみデータ不備がある場合 (患者 A、治療計画 2、3 は取り込まれます)

再インポートの際は以下の点に注意してください。

2 回目以降のインポートの際、既に取り込み済のテキストデータ、画像データがインポートファイルに含まれている場合はインポートファイルの内容で上書きされます。

※ 新バージョンで何かしらの変更を加えていない限り、取り込み済データは同じ内容での上書きです。従って、インポート失敗後、続けて再インポートを行う場合は全てのデータを再インポートしていただいて構いません。

再インポートの手順は以下の通りです。

- ① デスクトップ上の「treatment_plans」フォルダを開きます。
- ② 「errors_file.txt」に表示されている失敗理由を参考に、該当の CSV ファイル内のデータを修正します。
※ 修正はあくまで CSV ファイル内のデータに対しのみです。
※ 旧バージョンのデータ自体を修正したい場合は旧バージョンにて同様の修正を行ってください。
- ③ データ修正後、再度「treatment_plans」フォルダから zip ファイルを作成します。
※ zip ファイル名は「treatment_plans.zip」で問題ありません。
インポート操作の差分を残したいなどの場合は適宜 zip ファイル名を変更してください。
- ④ ③で作成した zip ファイルを、再度新バージョンの『データ取込』画面でインポートします。

再インポートの手順は以上です。

再インポート時も再び取り込みに失敗した場合は同様の手順を繰り返してください。